THE ROTARY CLUB OF NAGANO WEST

長野西ロータリークラブ

例会　毎週金曜日　12:30～13:30　ホテル国際２１

事務局 〒380-0838 長野市県町576 ☎026(235)2800　FAX 026(235)0016
e-mail:nwrc1987y@sweet.ocn.ne.jp

会長／竹村　利之　幹事／粕尾　正康　クラブ会報委員長／中野　欣哉
SAA／松本　克幸　　副 SAA／高井　亘

第1401回例会 2016年（平成28年）９月23日（金）

人類に奉仕するロータリー
Rotary Serving Humanity

会長挨拶　竹村利之会長

「耐震診断２」

先週は創立30周年記念式典・祝宴が皆様のお蔭で無事終了し、大変感謝申し上げます。

本日は先回の耐震診断についてもう少し詳しく説明をいたします。

③増築について；一般的に新築してから15年以上経過すれば増築を行うことが多いのですが、その時既存部の適切な補修・改修、増築部との接合をきちんと行っているかがポイントです。

④補修・改修について；屋根の棟・軒先が波打っている。柱や床が傾いている。又、土台が腐ったり白蟻の被害にあっている。特に建物の北側と風呂場廻りが傷んでいることが多い。

⑤建物の平面はどのような形ですか？；整形な建物（長方形）は欠点が少なく、地震に対して強い形です。反対に、不整形な建物は地震に対して比較的弱い形です。１階の平面形が大まかに見て長方形か不整形か判断する。

⑧壁の配置はバランスがとれていますか？；壁の配置が片寄っていると住宅の中でも壁の多い部分は揺れが小さく、壁の少ない部分は揺れが大きくなる。揺れの大きい部分から先に壊れていきます。

⑨屋根葺材と壁の多さは？；瓦は重たい為採用する建物では、それに応じた耐力が必要です。耐力の大きさは壁の多さに比例します。

⑩どのような基礎ですか？；鉄筋コンクリートの基礎は他の基礎と比べると弱地盤に建っていても、又同じ地震に遭遇しても丈夫です。

幹事報告　粕尾正康幹事

＊第３回クラブ協議会報告
10月は行事が盛りだくさんです。皆様、ご協力よろしくお願いします。

・10月７日の例会場は16階ブーランジェに変更。
・10月16日（日）地区大会　於：軽井沢
長野 RC と合同でチャーターバス。
国際21出発７：00　駅東口経由で行きます。
・10月23～24日　創立30周年記念旅行。
・10月29日（土）森林（もり）例会、10月30日（日）秋の親睦ゴルフと松茸鍋懇親会開催。
・11月６日（日）北信第１グループ　IM・会員セミナー開催。ホスト：更埴 RC
於：戸倉上山田温泉笹屋ホテル
・11月11日（金）職場例会　松代　真田宝物館、真田邸、文武学校見学。昼食は竹風堂にて。
・以前卓話に来て頂いた、岡学園の岡正子さんの依頼として第３回 NAGANO デザインフェスタ後援「名義使用」について了承。
日時　2017年２月18日　場所　北野文芸座
T シャツ・エコバックコンテスト
参加資格　長野県内　高校在籍　高校生

９／30　本日のプログラム

原　拓男ガバナー公式訪問例会

出席・ニコＢＯＸ報告　高井新太郎例会運営委員

9/23（会員54名）出席38名前々回修正出席率89.79%

ゲスト　林　映寿さん（浄光寺住職）

- 綿貫隆夫さん（30周年実行委員長）☆心のこもった創立30周年記念式典が出来ました。皆様のご協力に感謝します。☆林さん今日の卓話を楽しみにしています。
- 高井新太郎さん（30周年実行副委員長）☆同じく記念式典並びに祝宴お疲れ様でした。ご協力有難うございました。
- 飯田弘己さん（30周年特別幹事）☆私の力不足でご迷惑をお掛けして申し訳ありませんでした。次は記念旅行の参加をお願いします。布施さん記念事業部会長をよろしく！！
- 竜野晃一さん☆30周年記念式典は盛会でご苦労様でした。また、役員の皆様、ご苦労様でした。
- 清水光朗さん☆30周年記念式典盛会に行われ関係の皆様お疲れ様でした。当クラブの今年の目玉イベント終了ですね。

・合　計　17,000円　　・累　計　197,125円

秋親睦ゴルフと松茸鍋懇親会についてのお知らせ

10月30日（日）に開催しますが５組予約してあります。その後、かよう亭にて松茸鍋懇親会です。ふるってご参加ください。若麻績会員家族委員長

講師紹介　綿貫隆夫さん

小布施の浄光寺副住職の林映寿さんを紹介します。本日のNHK ニュースでやっていましたが、全国にお寺は７万７千寺あるそうです。その中で、檀家との関係が希薄になり寺の存続が大変だということが話されていました。林さんは、檀家がほとんどいないお寺を継がれ、どのようにご自分の信念を果たしていくかのお話を聞けるかと思います。お寺さんに大勢の人が集まってくるようなことを考えたいと活動されています。

例　会　案　内

10月７日　例会場：16階ブーランジェ
　　　　　会員卓話　村田弘志さん

ゲスト卓話　林　映寿さん

「寺子屋から世界へ挑戦」

私が住職を務める浄光寺は小布施の雁田山の麓に位置し、室町時代初期（1408年）の建立で今年608年になります。古くは将軍様の戦の必勝祈願に建てられたので格式が高く檀家を持たずに来ましたが、時代が変わり私の親父の代から檀家を持つようになりました。

全国にお寺は７万７千あります。コンビニが５万軒ありますが、コンビニと違い寺が明日から門を閉ざしても生活にはあまり影響がありません。私が住職になって、「人を集める寺」から「人が集まる寺」にしていきたいと思い静と動をテーマに「みんなが輝けるための寺子屋」活動を始めました。書道や習字ではなく気軽に書を楽しめる「筆あそび」や「五感の体験」「石窯のピザづくり」刃物や包丁を子供に正しく理解していただく「竹細工教室」や「流しそうめん」など地域の人が交流できる企画で、お寺を身近に感じていただく取り組みをしています。３年前から縁あって「スラックライン」といって２点間に張り渡した弾力性のあるラインを使って飛んだり跳ねたりの技を競うスポーツを、子供から大人まで手軽に楽しめるように境内に競技施設をつくっています。まだ馴染みの薄い競技ですが、今年アメリカ、フランス、ドイツで行われた世界大会でうちの寺で練習している選手がチャンピオンになりました。学校などでも導入されはじめ、徐々に広まって来ていますが、この競技を将来のオリンピック種目に採用してもらいたいと活動しています。機会があれば世界チャンピオンを派遣しますので体験してみて欲しいと思います。地域になくてはならないお寺になるよう今後も様々な文化を発信し、交流の場としての「寺子屋」を続けていきたいと思っています。　青木　宏　クラブ会報副委員長